

さかばえ



市議会だより

2019年
No.140
1月20日

目次

議案に対する主な質疑等	P 2
提出議案と採決結果、意見書	P 4
一般質問	P 6
除雪の要望書提出	P 9
行政視察報告	P 10
議会日誌	P 11
市民の声、おらがまち紹介等	P 12

寒河江まつり 小学生も大活躍



勇壮なばちさばきで
多くの観客を魅了

西根小学校 「西根豊年大鼓」

平成30年第4回定例会（12月定例会）

12月定例会は、12月5日から18日までの14日間の会期で開かれ、専決処分の補正予算2件を承認、補正予算6件・条例の一部改正8件・指定管理者の指定11件・その他1件を可決しました。また、請願1件が採択され、それに伴う意見書の議会案を可決し、内閣総理大臣をはじめ国の関係機関に送付しました。



議案に対する主な質疑

専決処分関係

基金管理事業

議員 補正予算には、ふるさと納税の増加に伴う基金管理事業費を追加する内容を含んでいるが、現在のふるさと納税額と返礼品で伸びた商品は。

答弁 平成30年4月から10月までの確定値は約13億7千万円で、果物関係が予想以上に伸びました。

補正予算関係

住宅建築推進事業

議員 住宅建築推進事業で700万円を計上しているが、専決処分の補正予算第4号でも同じ事業に1500万円が計上されている。同じ住宅関連だが、どのような違いがあるのか。

答弁 専決処分の1500万円は、子育て世代等を対象とした子育て定住住宅建築事業補助金です。今回の

700万円は、住宅のリフォーム等を対象とした補助金です。

土木施設災害復旧費
議員 道路河川等復旧費の288万6千円の災害場所と要因について伺う。

答弁 災害場所は上野地区になります。6月30日及び8月5日の豪雨により上野地区において冠水被害が発生したことにより、当地区の排水路に大量の土砂が流入しました。その土砂を撤去するための補正予算です。

寒河江市立病院事業会計
議員 入院患者数の増加に伴う補正予算だが、各科ごとの入院患者数はどれだけ

増えたのか。
答弁 4月から9月までの上半期の累計で、内科は平成29年度6680人、今年度9739人、整形外科は平成29年度5295人、今年度6658人、外科は平成29年度1268人、今年度608人という状況です。

指定管理者の指定関係

寒河江市市民プール、市民体育館、市民テニスコート、市民弓道場、市民体育館合宿所、野球場及び陸上競技場
議員 評価項目の「適正な人員配置」について、どのような計画となっているか。

答弁 当該団体については、現在、常勤職員がいらないという状況ですが、今回提出された計画では、新たに正職員を2名雇用し、基本的に職員を常時3名程度配置するものとしています。

寒河江市総合子どもセンター
議員 選考基準の「施設の適切な維持管理に係る経費の縮減が図られるものであること」については、すべての項目において基準点と同じ評価点になっている。

しかし、この施設では、冬は寒く、夏は暑いなど、利用者等にとって適切な室温が保たれていない状況にある。経費の縮減を図るがゆえに、冷暖房に係る部分に



指定管理者一覧 [指定の期間：平成31年4月1日～平成36年3月31日]

No	施設名	指定する団体名
1	さくらんぼ会館	さがえ西村山農業協同組合
2	トルコ館	株式会社 トゥーパトレーディング
3	二の堰親水公園	グラウンドワーク二の堰
4	市民プール、市民体育館、市民テニスコート、市民弓道場、市民体育館合宿所、野球場、陸上競技場	一般社団法人 寒河江市体育協会
5	総合子どもセンター	社会福祉法人 寒河江市社会福祉協議会
6	老人福祉センター、屋内ゲートボール場	社会福祉法人 寒河江市社会福祉協議会
7	技術交流プラザ	寒河江市技術振興協会
8	寒河江駅前交流センター、寒河江駅歩行者専用自由通路、寒河江駅正面口駐輪場、寒河江駅南口駐輪場	山形屋産業 株式会社
9	葉山市民荘	NPO法人 スペース・アンド・タイム・クリエーション
10	いこいの森	寒河江市いこいの森管理会
11	慈恩寺第1駐車場、慈恩寺第2駐車場	慈恩寺観光振興会

ついてコストカットせざるを得ないなどということはないか。

答弁 冷暖房については、ハートフルセンターで一括管理しています。当該施設の構造上、特に児童センターにおいて冷暖房が効きにくいということは承知して

おり、なるべく利用者の不快にならないような温度設定をしておりますが、なお改善できる場所があれば対応を検討してまいります。

寒河江市老人福祉センター及び屋内ゲートボール場

議員 指定管理者の応募は何団体あったのか。

答弁 この度の指定管理者選定にあたり、当施設については公募していません。理由は、当該団体が地域福祉の増進を目的とし、多様な福祉事業を行っており、老人福祉の向上を図る上で十分な能力を発揮でき、効率的な業務実施が可能で

あることや、当該団体が当該施設駐車場の土地所有者であり、施設との一体的な活用が不可欠であることから、当該団体への管理をお願いすることが適当と判断したためです。

議員 評価項目の「自主事業」で評価が高くなっているが、その理由は、**答弁** 自主事業については、現在もゲートボール大会のほか「名作映画鑑賞会」や「唄を歌おう」、「クラフトテープでものづくり」などのイベントを月2回実施しており、今後も多彩なイベントを計画していることから、評価点が高くなったものです。

寒河江市寒河江駅前交流センター、寒河江駅歩行者専用自由通路、寒河江駅正面口駐輪場及び寒河江駅南口駐輪場

議員 評価項目の「緊急時の対策」は、基準点より上回っているが、その理由は、

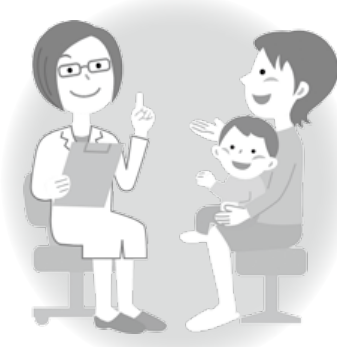
新なか保育所に併設する医療保育施設整備にかかる財産の減額貸し付けについて

議員 安心して子育てできる環境整備に向け、新設する医療保育施設を相手方に減額して貸し付けるとのことだが、貸付額を審議会のような場で決めなくとも問題ないのか。

答弁 貸す相手を探し、適性を見るなどし話を進めてきましたので、審議会は必要なものと考えています。

答弁 当該施設はJRに隣接しており、JRと連携した危機管理対策が取れるというところでプラスにしています。

その他



平成30年第4回定例会（12月定例会）の提出議案と採決結果

議案番号	議案名	採決結果
承認第6号	専決処分の承認を求めることについて（平成30年度寒河江市一般会計補正予算（第4号）ふるさと納税の寄附急増に伴う役務費及び子育て定住住宅建築事業の申し込み増加に伴い、2千万円を追加。	承認（全会一致）
承認第7号	専決処分の承認を求めることについて（平成30年度寒河江市一般会計補正予算（第5号）平成30年度寒河江市一般会計補正予算（第3号）に計上した、小中学校のエアコン整備に係る委託料及び工事請負費を繰越明許費と定めるもの。	承認（全会一致）
議第55号	平成30年度寒河江市一般会計補正予算（第6号）人事異動に伴う給与等経費の調整及びふるさと納税の増加に伴う基金管理事業費等に、7億5,529万4千円を追加。	可決（全会一致）
議第56号	平成30年度寒河江市介護保険特別会計補正予算（第2号）人事異動に伴う給与等経費の調整により、19万1千円を追加。	可決（全会一致）
議第57号	平成30年度寒河江市立病院事業会計補正予算（第2号）入院患者数の増加に伴う入院収益の増額及び材料費を追加するもので、収益的収入及び支出にそれぞれ2,394万4千円を追加。	可決（全会一致）
議第58号	寒河江市課制条例の一部改正について	可決（全会一致）
議第59号	寒河江市市税条例等の一部改正について	可決（全会一致）
議第60号	寒河江市企業立地等の促進に関する固定資産税課税免除条例の一部改正について	可決（全会一致）
議第61号	寒河江市医療費支給に関する条例の一部改正について	可決（全会一致）
議第62号	寒河江市立病院事業の設置等に関する条例の一部改正について	可決（全会一致）
議第63号	寒河江市立病院使用料及び手数料条例の一部改正について	可決（全会一致）
議第64号	さくらんぼ会館に係る指定管理者の指定について	可決（全会一致）
議第65号	トルコ館に係る指定管理者の指定について	可決（全会一致）
議第66号	二の堰親水公園に係る指定管理者の指定について	可決（全会一致）
議第67号	寒河江市市民プール、寒河江市市民体育館、寒河江市市民テニスコート、寒河江市市民弓道場、寒河江市市民体育館合宿所、寒河江市野球場及び寒河江市陸上競技場に係る指定管理者の指定について	可決（全会一致）
議第68号	寒河江市総合子どもセンターに係る指定管理者の指定について	可決（全会一致）
議第69号	寒河江市老人福祉センター及び寒河江市屋内ゲートボール場に係る指定管理者の指定について	可決（全会一致）
議第70号	寒河江市技術交流プラザに係る指定管理者の指定について	可決（全会一致）
議第71号	寒河江市寒河江駅前交流センター、寒河江駅歩行者専用自由通路、寒河江市寒河江駅正面口駐輪場及び寒河江市寒河江駅南口駐輪場に係る指定管理者の指定について	可決（全会一致）
議第72号	寒河江市葉山市民荘に係る指定管理者の指定について	可決（全会一致）
議第73号	寒河江市いこいの森に係る指定管理者の指定について	可決（全会一致）

議案番号	議案名	採決結果
議第74号	寒河江市慈恩寺第1駐車場及び寒河江市慈恩寺第2駐車場に係る指定管理者の指定について	可決（全会一致）
議第75号	財産の減額貸付について	可決（全会一致）
議第76号	平成30年度寒河江市一般会計補正予算（第7号） 山形県人事委員会勧告を踏まえ給与改定を行い、特別職給与費及び職員給与費等に876万9千円を追加するもの。	可決（全会一致）
議第77号	平成30年度寒河江市浄化槽整備事業特別会計補正予算（第1号） 山形県人事委員会勧告を踏まえ給与改定を行い、職員給与費に2万8千円を追加。	可決（全会一致）
議第78号	平成30年度寒河江市介護保険特別会計補正予算（第3号） 山形県人事委員会勧告を踏まえ給与改定を行い、職員給与費等に24万7千円を追加。	可決（全会一致）
議第79号	寒河江市特別職に属する者の給与等に関する条例及び寒河江市立病院事業の管理者の給与等に関する条例の一部改正について	可決（全会一致）
議第80号	寒河江市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	可決（全会一致）
請願第5号	ライドシェアの導入に反対し、安全・安心なタクシーを国に求める意見書提出に関する請願	採択（全会一致）
議会案第7号	ライドシェアの導入に反対し、安全・安心なタクシーを国に求める意見書の提出について	可決（全会一致）

ライドシェアの導入に反対し、安全・安心なタクシーを国に求める意見書

タクシー事業は、地域生活に欠かせない安全・安心で快適・便利なドア・ツー・ドアの個別輸送機関であり、急速に少子高齢化が進展する中、地域住民や交通弱者のための移動手段として大きな役割を果たしている。加えて、スマートフォンによる配車サービスの普及促進、ユニバーサルデザインタクシーや観光タクシーの充実、地元自治体等の要望を踏まえた乗り合いタクシーの展開を行うなど、多様化する利用者ニーズに対応した新たな取り組みを的確に実施している。こうした中、規制改革の推進やシェアリングエコノミーの成長を促すという名目で、インターネットを利用した「ライドシェア」の容認を求める動きが活発化している。

しかしながら、「ライドシェア」は、その事業主体が運転者の仲介のみを行う業務形態であるため、事業主体が運行管理や車両整備等について責任を負わず、家用車の運転者のみが運送責任を負う形態を前提としており、安全の確保や利用者の保護等の観点から大きな問題が生じることが懸念されている。仮に、こうした行為が無秩序に容認されることとなれば、道路運送法、道路交通法、労働基準法等の様々な法令を遵守し、安全確保のためのコストを掛け、国民に安全・安心な輸送サービスを提供するタクシー事業の根幹を揺るがすとともに路線バスや鉄道も含めた公共交通に大きな混乱をもたらすおそれがある。

よって、国及び政府並びに関係機関においては、次の事項について適切な措置を講じられるよう強く要望する。

- 1 「ライドシェア」は、利用者の安全・安心に極めて大きな懸念のある業態であり、その容認を行わないこと。
- 2 地域において大きな役割を担っているタクシーはもとより、バスや鉄道を含めた地域公共交通維持・発展に向けた総合的な諸施策を講ずること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出します。

平成30年12月19日

山形県寒河江市議会議長 内藤 明

提出先／衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、国土交通大臣、

内閣府特命担当大臣（規制改革）



佐藤 耕治
議員

旧寒河江高校農業校舎の 利活用を含めた農業支援

①旧農業校舎は左沢高校の管轄になっているが、ほとんど利用されていない状況である。利活用をどう考えているのか。

②農業機械等を離農者から取得し、貸し付ける仕組みを作ることで経営を安定させ、新規就農者の参入増加につなげてはどうか。

③将来を見据え、西村山広域連携と農業関連を統合した窓口を、旧農業校舎跡地に（仮称）農業公社として設置できないか。

市長 ①農業分野に限らず、地域の活性化のためにも役に立つような新たな利活用について、県と相談していきたいと考えています。

②新規就農者の課題をできるだけ改善できるよう、農業用機械の貸与などのやり方も含めて様々な対策の検討を進めてまいります。

③県やさがえ西村山農業協同組合などの関係団体と連携して、農業の振興を図ることは重要です。農



期待される旧寒河江高校農業校舎の利活用

業公社構想の機能や役割、必要性を研究したいと思っています。

大切な農作物を守るための イノシン対策

最新の情報通信機器を活用したイノシン対策はできないか。

市長 鳥獣被害対策は、対策を緩めると再度被害が発生する恐れがあり、長期間継続した対策が必要です。先進地の事例を見ると、生ゴミ放置などの誘引要因の除去や罠の見回りなどについて、地域の協力も必要のようです。見回り等の負担軽減にICT（情報通信技術）を活用するのは有効であるため、導入の可能性について検討してまいります。



渡邊 賢一
議員

心身の障がいの有無にかかわらず 笑顔で安心して暮らせるまちづくりを

障がい者雇用や自立支援について「農福連携」を進め、施設の隣にある耕作放棄地の有効利活用をすべき。農家の皆さんや多くの市民の協力が要だ。ノーマライゼーション（共生）をさらに進めていくことについて所見を伺う。

①基幹相談支援センター設置の進捗状況はどうか。

②障がい者雇用について、市役所や民間事業所は法定雇用率に達しているのか。

③障がい者スポーツの振興のため、



Gallery&Cafe あるあーる（西根）
店舗内の商品展示コーナー

指導者の確保、施設や用具の整備なども必要だが、本市の実施状況を伺う。

④チエリーランド再整備、市営住宅や市民浴場の移転新築など、そのコンセプトにバリアフリーを進めていくのか。

市長 ①西村山地域自立支援協議会で検討を重ね、平成31年4月の設置を目指しております。

②市役所の障がい者雇用率は2.54%、ハローワーク寒河江管内の民間事業所も2.09%と、いずれも法定雇用率を達成していません。

教育長 ③グリバーさがえを会場に「パラトライアスロン大会」や「パラスポーツカーニバル」等を開催したり、柴橋小学校の5・6年生を対象にスポーツ義足の体験授業を実施するなどして、障がい者スポーツに理解を深めていただくとともに、障がいのある方と健常者が共にスポーツを親しむことができる社会の実現に向け、環境整備や啓発に取り組んでおります。

市長 ④公共施設のリニューアルの際にはバリアフリー化を進め、安心して暮らすことのできる共生社会の実現を目指してまいります。



古沢 清志
議員

地球環境に優しい 再生可能エネルギーの活用

温室効果ガスの発生が少ない太陽光などを利用した、再生可能エネルギーの普及を進めている。

- ①太陽光発電設備やバイオマス燃焼機器の設置状況はどうか。
- ②公共施設にも雪エネルギーを活用してはどうか。

市長 ①平成30年4月から11月末までの申請状況は、太陽光発電設備が19件、木質バイオマス燃焼機器が8件あり、そのうちペレット



30年ほど前に建てられた村山市にある雪室

ストーブが2件、薪ストーブが6件となっております。

②雪冷熱エネルギーの公共施設への利活用については、試験的導入や施設の規模による導入可能性等を、他の事例を参考にしながら研究してまいります。

TPP発効後の本市の経済状況

成長著しいアジア太平洋地域に巨大な自由貿易圏をつくる試みで、経済成長の新たな推進力が期待されている。また、安い農産物も輸入されることから本市においても少なからず影響が出てくると思う。

①輸出関連企業への支援策はあるのか。

②農業に対する支援策はあるのか。

市長 ①日本貿易振興機構や山形県国際経済振興機構では、海外取引先の開拓支援や貿易情報の提供、商談会の助成を行っています。本市でも販路拡大支援事業補助金制度があり、海外出展料や旅費の一部を補助しております。

②国の補助事業の産地パワーアップ事業で支援しており、課題解決の糸口となる省力化や効率化に向けた支援を強化していく考えです。



阿部 清
議員

寒河江地区クリーンセンターの 余熱を利用したハウス栽培

環境省では、廃棄物焼却施設から恒常的に排出される余熱を地域の施設に提供し、地球温暖化対策強化を目的とした地域低炭素化モデル事業を実施している。

- ①大型ハウス等への余熱活用について。
- ②加温さくらんぼ栽培への余熱活用について。

市長 ①余熱利用には、安定的かつ必要な熱量が確保可能な施設構造や供給方法、収益性が見込める農産物の選定など様々な課題がある



寒河江地区クリーンセンターの余熱利用

りますので、情報収集や研究を継続してまいります。

②さくらんぼの加温ハウスにおける余熱利用についても様々な課題があるものの、本市を象徴する農産物なので新たな農業技術を導入する場合は、その可能性を検討することになると考えております。

各小中学校で利用する水道水の 水質管理

陵東中学校生徒から「朝学校の水道水でうがいや手洗いをすると、家庭の水道水と違う」と聞いている。学校では改善をお願いしているとのことであるが、各小中学校の状況と対策について伺う。

教育長 学校の飲料水は受水槽及び高架水槽を経由し、また、建築後の年数も長く経過していることから、直接配水管から給水される家庭のものとは違うと感じられるものと思います。水質検査等では、生徒の健康面と安全上は問題ない結果となっておりますが、水飲み場に近い水道管に浄化器等を設置して水質を改善し、少しでも家庭の水道水の味に近づけ、子供たちに不快を感じさせない対策を検討してまいります。



遠藤智与子
議員

「思いやり除雪」をさらに進めて！

本市は昨年度より高齢者らに思いやり除雪をと、スマートフォンでGPS機能で除雪車の位置情報を管理するシステムを活用し、丁寧な除雪を始めた。

①登録者や運転手、台数等の枠を広げるなど、要件緩和が必要と考えるがどうか。

②温泉水や地熱を利用しての融雪・排雪の可能性について探っていくとしているが、現状はどうか。

③問題を共有し効果的な協力連携体制を取り、継続的に雪対策業務を改善していく必要があると考え



「思いやり除雪」をさらに進めて！

るがどうか。

市長 ①システムの活用により作業の効率化を図り、雪押し場や除雪機械台数の確保に努め、間口除雪が必要な方々の要望に応えられるよう検討してまいります。

②温泉水や地熱は、限定された区域での活用となり、費用対効果を検証した上で導入の可能性について引き続き研究してまいります。

③思いやりのある除雪の実現は行政だけで解決できる課題ではないため、住民の皆さんや除雪協力会と連携しながら継続的に雪対策を検討してまいります。

子育て支援の集大成としての
本市独自の奨学金制度を！

現在、返済の必要のない奨学金制度を求める声が多数寄せられている。制度創設をどう考えるか。

教育長 意欲と能力がある若者が経済的理由で就学を断念することのないよう、人材育成の観点からも若者の学びを社会全体で支えることは重要です。給付型奨学金は、低所得者世帯の生徒の進学を後押しするものです。他の奨学金とのすみ分けを行い、本市独自の制度創設を引続き研究してまいります。



工藤 吉雄
議員

都市計画マスタープランの見直し版で
西部地区の人口増を図る

本市西部地区は、急激な学童生徒減少が見られる。西部地区住宅地構想で人口増を図ってはどうか。

①農用地区域内農地を区域から除外する、農地転用の手続きは。

②住宅団地の民間開発を強力に誘導するには、高松陸橋歩道橋に通じる道路を市道認定改良し、利便性向上を図る事が重要ではないか。

市長 ①区域からの除外は、市が事業者から申請を受け付け、関係機関との協議や縦覧、公告を経て決定します。農地転用は、農業委員会が事業者から申請を受理し、



農道から望む高松陸橋歩道橋

審査後進達し、県知事が許可します。②高松駅南側の住宅地開発が具体的となった段階で、そこへのアクセス道路としての必要性を検討の上、市道に認定等をして整備したいと考えております。

市民を災害から守る
防災行政無線

平成30年は自然災害の多い年だった。本市は大雨で土砂くずれ、道路冠水、作業小屋浸水の被害にあった。安全安心な生活確保のための注意喚起について伺う。

①防災行政無線拡声装置の可動数と設置施設は、どのようにあるか。

②高気密住宅対策として、戸別防災受信ラジオを導入してはどうか。

市長 ①防災行政無線拡声装置の設置は64カ所で、小中学校等の市の公共施設と地域の自治会等所有している消防ポンプ庫に設置しております。

②非常時には放送音量が自動的に最大となり、併せてエリアメールや広報車等で市民の皆さんにお知らせすることによりありますが、本市のシステムでデジタル防災受信ラジオの導入が可能か研究してまいります。



柏倉 信一
議員

日田から市役所までの道路整備を

(仮称)日田下釜線(日田から市役所までの区間)は、現在国道112号を横断できない状態にある。柴橋日田線の渋滞緩和・通学路の確保・まもなく工事着工となる内回りバイパスの接続等を視野に、国道横断について道路整備計画を見直すべきと考えるがどうか。

市長 今年度より事業を行っている、都市計画道路落衣島線(西根地区)の整備や周辺道路による交通環境変化の予測等を踏まえて、今後の道路整備計画に反映してまいります。また、国道112号交差部の改良に向けて、国道管理者である国土交通省の指摘事項等を踏まえた調査設計を行い、安全な国道横断が可能となるよう取り組んでまいります。

雨水対策(災害に強いまちづくり)

①全国的に予測のつかない豪雨災害が発生しており、本市の対応策



として雨水排水整備計画の素案ができた。工事の優先順位は、どのようになっているのか。

②この度の整備計画は、かなり大掛りで完成まで時間を要する。喫緊の課題として最上川と内川合流点に、沼川排水機場並みのポンプを整備すべきと考えるがどうか。

市長 ①日田市内の横井川から住宅地への溢水を早期に解消することを第一優先とし、平成31年度より工事を実施していきたいと考えております。

②最上川の水位が上昇して内川樋門が閉じることの影響を詳しく調査し、排水機場の整備に限らず費用対効果も考慮しながら様々な方法を検討してまいります。

除雪の要望書提出(平成30年10月19日)

平成30年2月の大雪により、市民生活に多くの支障を来す事態が発生したことを受け、市議会では、市長(副市長)に「市民生活に根差した除雪の実施」についての要望書を提出しました。

平成30年2月19日に市内各所を状況視察し、早急な対応を要望(市議会だより137号[平成30年4月20日発行]参照)したところですが、今回、本格的な降雪期を迎えるにあたり、要望書として提出したものです。



要望書を提出する議長、副議長

要望書(概要)

1 除雪体制について

- ① 地域の特性を考慮した除雪車出動の判断基準の再検討
- ② 町会長等及び地域住民の要望に沿ったきめ細かな除雪実施のための体制構築
- ③ 効率的・早い時間帯での除雪の実施

2 危険防止について

きめ細かなパトロールの実施による危険箇所(見通しの悪い交差点、通学路等)の解消

3 除排雪場所の確保について

- ① 除排雪場所の確保
- ② 八楸河川敷雪捨て場のロータリー車による進入路の確保や新たな雪捨て場の検討

4 農道の除雪について

- ① 主要農道除雪の対応基準の明確化
- ② 春先の幹線農道の要望に応じた早期除雪

5 行政指導について

公道の安全通行に支障を来すような個人宅及び事業所の除雪に対する指導

行政視察報告

議会の充実と行政課題解決のため、厚生文教常任委員会が「健康づくり」を主テーマに、また、議会運営委員会が「議会運営」や「危機管理対応」等をテーマに先進地の行政視察を実施しました。その概要を報告します。

厚生文教常任委員会

平成30年10月15日～17日

星ヶ台保育園

岐阜県多治見市

当保育園は2つの園を統合し新築され、平成28年4月に開園。丘陵上に立地し、隣接する運動公園と併用の駐車場は収容台数400台超。入所定員210名の大規模園だが送迎時の問題は皆無。建物は円弧状の鉄骨平屋建てで園庭から全ての保育室が見渡せる。広い内部は県産木材で内装木質化が図られ、特産の美濃焼のタイルも随所に使用。立地も含め、園児が伸びびと過ごせる保育園であった。

「元気まる測定」及び

「あたまの元気まる」

愛知県尾張旭市

「元気まる測定」は、市民が現在の健康状態等を客観的に認識し、健康づくりの方法の習得・実践に

よる健康寿命延伸等を目的とした事業である。内容は、問診や健康診断等の分析結果を基に保健師等から指導を受けるもので、年間約千人の受検者がいる。「あたまの元気まる」は軽度認知障がい（MCI）を高精度で判別できる簡単なテストを用いた認知症予防の事業である。認知症予防には前段階のMCIの早期発見が重要で、当事業により市民の認知症予防に対する意識も変化しているという。

① 地域回想法

愛知県北名古屋市

回想法とは、人生を振り返り思い出を語り合い、脳の活性化や心を元気にする心理的・社会的なアプローチである。約15年間の取り組みの中で、高齢者の介護等予防と地域づくりを結び付け「地域回想法」を確立。事業の核となる「回想法スクール」は65歳以上の方が10人程度のグループを作り、スタ



地域回想法拠点施設「昭和日常博物館」

ップを交えテーマを基に一時間程度語り合う。全8回実施され昔の生活用具等も活用される。活動拠点の1つである昭和日常博物館では、昭和の資料が所狭しと展示されタイムスリップしたような空間が広がる。事業の効果検証では心の健康状態に改善が見られ、生まれた活力が様々な活動を通して地域づくり等にも生かされている。

② 健康ドーム

当施設はアリーナ、健康サポートジム、浴室、会議室等を有する3階建ての大型健康増進施設である。施設全体の年間利用者は約25万人で、このうち健康サポートジムは約3万6千人。利用者は初めに「元気測定」を受け、その後、結果に応じたトレーニングメニューが提案され、ジムでの運動をス

タートする。利用料は1回500円だが、市民を対象とした1カ月2千円のエクササイズパスとシニアパスがある。

① いきいき元気推進事業

愛知県東海市

平成23年度に開始した当事業は、県下で著しく悪かった市民の健康状況の改善に向けた各事業の総称である。その中の「トマトde健康まちづくり」は、カゴメ株式会社創業者の出身地という縁等から会社と連携して実施。「トマトde健康づくり条例」制定やトマト給食実施などが行われている。その他、民間事業者等と協働で多くの事業が進められ、結果として市民の健康寿命等が改善されている。

② 健康増進施設

「しあわせ村」の温水利用型健康運動施設の年間利用者数は12万人超。温浴施設やトレーニング室が幅広い世代に利用される。その他、ごみ処理施設で発生するエネルギーを利用した健康増進施設建設や、市民病院跡地への民間健康増進施設等誘致も予定されている。

議会運営委員会

平成30年11月1日～2日

議会運営及び議会報告会等

茨城県下妻市

一般質問について

平成6年第1回定例会より常任委員会、予算・決算特別委員会終了後に一般質問を行うようになった。議員および当局答弁調整等の準備期間が確保され、有効と思われる。質問の形態は、「一括方式」と「一問一答方式」を議員が選択でき、現在試行期間としている。

議会報告会について

平成24年12月設置の「下妻市議会活動等調査委員会」において、議会報告会の開催を決定。平成25年2月からこれまで3回実施した。平成28年12月以降は報告会を実施していないが、市民アンケートを基に報告会を開催する方向で協議している。

市議会議長はじめ、対応していただいた方々の丁寧な対応に感謝するとともに、庁舎内の職員全員



議会運営について学ぶ。(茨城県下妻市)

が立ち上がり会釈をする姿に「下妻市のおもてなし」を感じた。

議会における危機管理対応等

茨城県常総市

通年議会(通年会期制)について

議会が主体的に本会議や委員会を開催することで議会機能の自立的向上を図り、また、充実した委員会活動が行えることから突発的な事態にも即応できるとして、平成26年から通年議会を導入した。メリットとしては、招集手続きを経ずに議長の判断で本会議開催が可能であり、市長の専決処分減少や災害等の緊急時に即時対応が

可能となる。一方デメリットとしては、費用弁償など議会経費の増加や市議会以外の日程調整が困難になり、地域での議員活動に制限が生じることなどがある。

平成27年9月の関東・東北豪雨の際には、迅速性・機動性が大いに発揮された。

危機管理対応等について

平成27年9月10日の鬼怒川溢水、堤防決壊の災害時、議員は「地域防災計画」に含まれていなかったことから、今後起こりうる大規模水害の被害を最小限に食い止めるため調査・検証し、市側の対応等

に対して市長に提言を行う「関東・東北豪雨による水害検証特別委員会」や、復興に関する「関東・東北豪雨による水害復興特別委員会」を設置した。また「常総市防災の日」を定める条例を制定し、9月10日を「防災の日」と定めた。

議会としては、災害時の対応を明確にするため「常総市議会災害対策会議」を設置するとともに「常総市災害対策本部」の構成員と位置づけられ、地域防災計画と議会の関係も見直された。

被災した経験を踏まえたこれらの取り組みは、本市においても大いに参考にしなければならない。

議事日程

10月21日～11月20日

- | | | |
|-----|--------|-------------------------------|
| 10月 | 10月22日 | 県・市町村行政懇談会 |
| | 24日 | 議会運営委員会協議会 |
| 11月 | 1日 | 議会運営委員会行政視察(～2日) |
| | 5日 | 議会報告会(松川・東新山・金谷) |
| | 6日 | 議会報告会(西根北部・雲河原・西浦) |
| | 7日 | 議会報告会(南新町・宮内・田代) |
| | 8日 | 山形県市議会議長会議会報研修会 |
| | 12日 | 山形県市議会議長会第140回定期総会(～13日) |
| | 15日 | 市議会・農業委員会親善入泊交流会 |
| 12月 | 21日 | 議員懇談会、厚生文教常任委員会協議会 |
| | 30日 | 議会運営委員会、議会運営委員会協議会 |
| | 5日 | 第4回定例会(～18日)、市議会だより編集委員会 |
| | 11日 | 議会運営委員会 |
| | 12日 | 総務産業常任委員会協議会、厚生文教常任委員会協議会 |
| | 17日 | 議会運営委員会、議会運営委員会協議会 |
| | 19日 | 西村山地方総合開発推進委員会重要事業に係る県知事との懇談会 |
| | 26日 | 市議会だより編集委員会 |
| 1月 | 7日 | 市議会だより編集委員会 |
| | 9日 | 議会運営委員会 |
| | 17日 | 新春林政講演会 |

市民の声



陣ヶ峯
板花 いたはな 一憲さん かずのり

平成もあと4カ月ほどで、幕を閉じることになっていきます。平成の時代を振り返ってみると、前半は「平に成る」そのものでした。でも21世紀に入る頃には、いろいろな問題が溢れ出したような感じを受けました。バブル景気がはじけ、リーマ

ンショックも受け、日本だけでなく世界を震撼させました。少子高齢化社会が進み、夢や希望が入っている庶民の大きな風船がどんどん小さくなるのを感じています。また、日銀のゼロ金利も気になります。核家族からの空き家問題など、上げたらきりがありません。自然災害も想定以上に降り掛かってきており、今までの経験値は通用しません。自分の命は自分で守るを心掛け、明るいうちに避難しましょう。明るい人生を送るには、健康第一です。

3月定例会の日程(予定)

- 2月26日(火) 本会議(議案上程、説明)
- 28日(木) 本会議(一般質問)
- 3月4日(月) 本会議(一般質問)
- 5日(火) 本会議(質疑)、予算特別委員会、各分科会
- 7日(木) 予算特別委員会、本会議(採決・質疑)、各委員会・分科会
- 8日(金) 各委員会・分科会
- 11日(月) 各委員会・分科会
- 12日(火) 各委員会・分科会
- 15日(金) 予算特別委員会、本会議(採決)

※いずれも午前9時30分から開会します。

議会の傍聴においでください

本会議を傍聴する際は、受付簿に住所氏名を記入の上、議場にお入りください。議会の会議は原則公開です。

また、市議会ホームページでは、インターネットによる本会議等のライブ中継、録画中継の配信を行っていますので、ぜひご覧ください。

■3月定例会の請願・陳情の締め切り日時は、2月20日(水)の正午です。

おらがまち 紹介

舟橋公民館長(舟橋中町会長)

會田 あいた 茂さん しげる

舟橋地区は昭和の初め頃、28戸しかありませんでしたが、現在は5町会で500戸近くに膨れ上がった住宅地帯となりました。

当地区の事業は、ミニレク大会、盆踊り大会、神輿の祭典での子供たちによる離子屋台の地域巡回、だんご木祭と餅つき大会等です。



舟橋地区の盆踊りにみんなあつまれ～

特に今年で39回目を迎えた盆踊り大会は、舟橋地区最大のイベントです。日没とともに老若男女や子供たちがぞくぞくと集うと二重三重の踊りの輪が広がり、終了後は抽選会がスタート。豪華景品が盛りだくさんで、和気あいあいの内にお開きとなります。この盆踊り大会が長続きしているのは、唄い手や太鼓等で携わる方が当地区の人のみであることから出費が抑えられ、これにより寄付を一切集める必要がなく、その日のお祝いだけで賄っているからだと思えます。これからも、盆踊りの明かりを灯し続けていきたいと思っています。

編集後記

あけましておめでとうございます。

昨年は、北海道の大地震をはじめ記録的な西日本豪雨や酷暑など日本列島が大きな災害に見舞われ、一年を表す漢字も「災」とされました。今も多くの被災者が不自由な生活を強いられており、改めてお見舞い申し上げます。

本年は「己亥(つちのとい)歳」。60年前の己亥の年は、現天皇のご成婚、昭和39年(1964)東京オリピックの開催決定、南海ホークスがプロ野球日本一となり、初めて「ビールシヤワー」を行うなどの出来事がありました。今年「豊」な漢字になりますように。12月定例会の内容をお届けします。ご意見をお待ちいたしております。

石山記